

# 琉球大学学術リポジトリ

## 衣料繊維の市販状況より

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲井真, 治子, Nakaima, Haruko メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/21296">http://hdl.handle.net/20.500.12000/21296</a>



## 衣料繊維の市販状況より



合理的な衣生活は合理的な家庭生活の一端をになうものです。この意味から、筆者は、衣生活設計の第一段階として先の農家便り（No. 1438—

10仲井真治子）に、繊維製品品質表方法について1. その解説。2. それについての女子大学生及び一般主婦の関心度の実態調査を紹介しまし

第1表：衣料用繊維の分類と特徴

	統一文字	特徴	商標名	
			100%	混紡又は交織
天然繊維	麻	最も丈夫な天然繊維、熱の伝導度が高くさらりとしている。しわ、縮みやすい欠点がある。		リネトロン（麻+ポリエステル）
	綿	吸湿性、通気性が大。丈夫で実用的材料、しわ縮みやすい欠点がある。	ボイル、オーガンジー、デニム、クレープ、ブロードコットンピケ、ローン、シヤークスキ、ヘッドクロス	ピッケ（綿+ポリエステル）
	絹	繊維が長く均一でしなやかな感触をもち光沢があって美しい。日光に弱い。	シルクシヤンタン、羽二重、	シルク（絹+ポリエステル+アクリル+レーヨン）
	毛	含気量。弾力性に富む織物ができる。縮む、虫に侵されるのが欠点である。	モスリン、トロピカル、セルボラ、ホームスパン、アルパカ、モヘア、サージ、ギヤバジン、カシミヤ、アムゼン、ドスキ、	
再生繊維	レーヨン	よく染まり、感触がよく価格が安い、他繊維と混交の適応性がある。しわ、縮む欠点。	レーヨン、	テトロン水玉（レーヨン+ポリエステル） シルクつむぎ
	ポリノジック	レーヨンより強力な繊維で、特に湿潤時に高性能を発揮する。	ポリノジック	
	キュプラ	絹に似て柔らかく光沢がある。すべりが良く裏地、下着に好的、しわ、縮む欠点	ベルベルグ	
半合成繊維	アセテート	よく染まり感触がよく「美の繊維」といわれる。適度の吸湿性があり、乾きも早く、すべりがよい。熱まさつに弱い。	テイジンアセテート、セルテート、ミナロン、カロラン、アロン	クリンプ（アセテート+ポリエステル）
	トリアセテート			
合成繊維	ビニロン	まさつに強く丈夫で価格も安い。吸湿性があり、酸・アルカリに強い。美しさが劣る。	カネビアン、ウーロン、倉敷ビニロン、ニチポービニロン、	
	ナイロン	軽く弾力性があり、染色性はよい。やや吸湿性もある。日光に弱く黄変する。	ナイロン、東レナイロン、ニチレナイロン	
合成繊維	ポリ塩化ビニル	着用によって負の静電気が著しい。価格が安く、毛の感触があるが、熱に弱く染まりにくい。	テピロン、エンピロン	
	ポリエステル	熱やまさつに強く、取扱いが簡単。ブリーツ性にすぐれ、しわになりにくい、汚れが付き易い。	テトロン、デクロン、テリレン、	リネトロン、クリンプピッケテトロン水玉シルクつむぎ
合成繊維	アクリル	最も羊毛に似た繊維、軽くバルキー性があり保温性に富む。汚れ、ピリングが欠点。	カネカロン、エクスラン、ボンネル、カシミロン、オーロン、ダイネル、	シルクつむぎ
	ポリプロピレン	水よりも軽く、何よりも丈夫、吸湿性がない。乾きが早い。耐熱、耐光、染色性が劣る。	ユリロン、	
	ポリウレタン	ゴム系のようによく伸縮する。軽く丈夫で老化しない。塩素に弱く黄変する。	スパンデックス	

た。今回は第二の段階として、那覇市内の5軒の婦人服地店（いのうえ、山里商会、平和通りから1若松ストアから2）の市販状況調査（1968年5月31日の調査）をとおして、2項目についての実態を述べます。

## 1. 繊維製品品質表示方法にそった良いラベルとは？

### 1) 良いラベルの例

(a) 商標名の下に統一文字とそれらの混紡率を明記している。統一文字とは繊維の化学的組成に

(c) 商標名と統一文字を表に明記しているのは良い取扱い方、保存のしかたが省略されてあるのは、綿が麻に次いで着用された歴史が長いためであると考える。

2) 悪いラベルの例

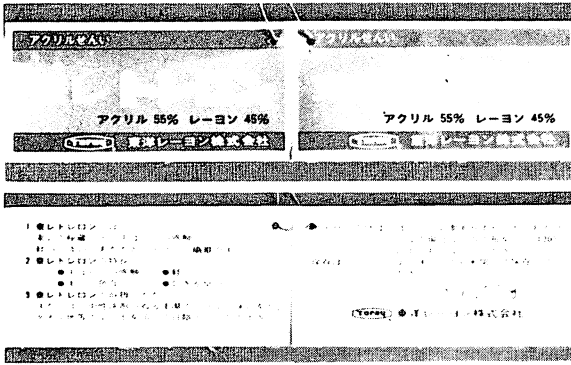


写真 1) -a

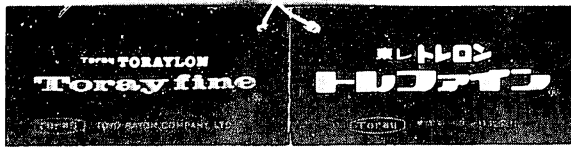


写真 1) -b



写真 1) -c

よる分類で、繊維製品品質表示法によって名称が統一されている。取扱いに関しては、洗たくのしかた、アイロンの温度まで明記され、保存のしかたの説明もしてある。

(b) 表には商標名だけ表示されているが、裏には統一文字それらの混紡率も記されている。洗たく、乾燥、アイロン掛け等、取扱い上の注意も付記されている。保存のしかたについては説明されていない。

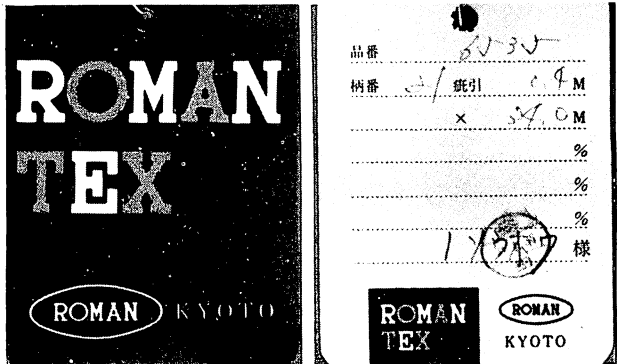


写真 2) -a

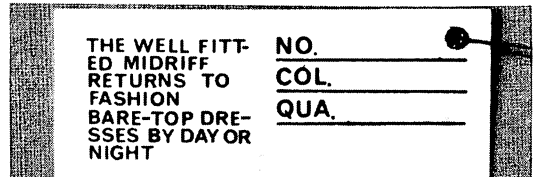


写真 2) -b

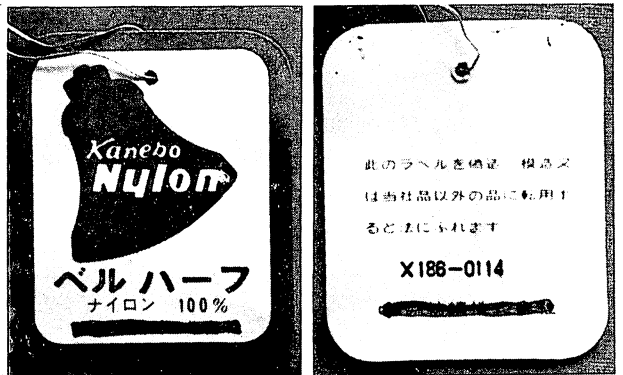


写真 2) -c

(a) 商標名だけ大きく揚げ、統一文字、混紡率が記されていない。取扱い方、保存法など全て不明で製造会社名さえ不明

(b) 商標名の表示は明瞭であるが、裏に記されてある統一文字、混紡率は不明瞭である。取扱い方、保存のしかた、製造会社名が記されていない。

(c) 商標名の下に統一文字を記してあるのは良いが、取り扱い方、保存のしかたの説明がない。

50種以上の調査例の中から、悪いサンプル3，良いサンプル3を取り上げて説明しました。一貫していえる事は、会社名を名記していないものに、統一文字、混紡率、取扱い方、保存のしかた等の説明をしていないものが多いということです。

## 2. 衣料用繊維の化学的組成による分類 と一般商品名の関係を表にまとめます

衣料用繊維及び衣料用繊維製品を選択，購入する際、色，柄，デザイン，という外観のみにとらわれず，科学的根拠のもとに選択購入する態度が大切で，衣生活設計の一つの要素にもなります。今回は，1968年5月31日，那覇市内の5軒の衣料品店の調査の一部をもとにラベルの見方，各種衣料用繊維の化学的組成にもとづく分類と統一文字それらの特徴，商標名との関係を述べました。商標名は無数にあります。要は繊維の化学的組成にもとづく分類と統一文字，それらの特徴を理解し混紡，交織率まで確かめることです。衣生活設計の要素についてはその他，色々とありましょう。その1つ1つを今後継続して述べることにします。（第1表参照）

（仲井真治子）